

マルトミです



この1年のご愛顧に 心より御礼を申し上げます。

早いもので2016年も残すところあとわずかとなりました。

振り返ると、今年も大きな自然災害が次々に発生して各地に大被害がもたらされました。すぐに思い浮かぶものだけでも、4月から続いた熊本県での地震、施設が押し流されて9人のお年寄りの方が亡くなられた8月岩手県での大雨による洪水、10月の鳥取県中部地震と続き、さらに先月末、福島県沖でも大きな地震が発生し周辺各地に津波警報が発令されました。NHKではずっとその報道のみという緊急事態の中、5年前のできごとが思い出され、状況が収まるまでは心配で仕事も手に付かなかった方が大半だったのではないのでしょうか。他に大きなニュースにはならなかったものも含め、各地で頻発した災害により多大な被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、今年も国際情勢を見ても本当に激動の一年でした。皆様もお感じのことと存じますが、それぞれの国の立場や国同士の関係が今までとは違う方向に動いているような気がします。不安はありますが、見えない先のことを心配ばかりしているよりも、それが明るい未来に向かうことを信じて元気に過ごすことを心がけたほうが、少なくとも健康には良いのではないのでしょうか。

この一年のご愛顧に篤く感謝申し上げますとともに、来る2017年が皆様にとりましてより良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、今後共 マルトミをどうかよろしくお願い致します。

(当社では、現在年賀状による新年のご挨拶はいたしておりません。何卒ご理解のほどお願い致します。)

マルトミカレンダー (12月 ~ 2017/2月) 赤色は休業日

12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28				

※正月休業 12月30日～1月4日。 冬期間は降雪状況によって休業日でも営業致します(3頁をご覧ください)。

除雪機ご使用前の注意点と安全な使い方

今年も雪のシーズンがやって来ました。除雪機をお使いになる皆様に、使用前と使用時の注意点をいくつか挙げさせていただきます。

除雪機は、きちんと使用法を守って作業される限り決して怖いものではなく、事故の心配もまずありませんが、それでもくれぐれもご注意の上、どうか安全にご使用くださるようお願い致します。



<エンジンをかけるとき>

- ① 始動前に、エンジンオイルがちゃんと入っていることをお確かめ下さい。
オイルの量が少なかったり汚れていたりすると、大きな故障に結びつく危険があります。
- ② バッテリーは十分ですか。
バッテリーが不足していると、エンジンがかからなくなったり、雪を飛ばす筒が回転しにくくなったりしますのでご注意ください。そうなった場合は充電が必要です。
- ③ キャブレターが詰まっていますか。
バッテリーは十分にあるのにエンジンがかからなかったり、かかっても音が波打つようなときはキャブレター(気化器)の詰まりが考えられます。そうなった場合は修理が必要です。

<安全な使い方>

- ① ハンドルから離れるときは必ずエンジンを止めてください。
基本中の基本です。これさえ守っていただければまず事故は起きず怪我することはありません。
 - ② 雪を掻き込む部分(オーガ)や掻き込んだ雪を飛ばす部分(ブロー)に触れるときは、エンジンを止めて、それらも完全に止まっていることを確認してください。
しばらく惰性で回っている場合もありますので、必ずご確認下さい。
 - ③ 熱くなっているマフラーに触れないでください。
とくに小型の除雪機はエンジンのマフラー(排気筒の部分)がむき出しになっている機種が多く、エンジンを止めた後もしばらくは熱い状態になっていますので、手を触れないようご注意ください。
- ★それから、作業される方の危険とは別に、作業中除雪機の周りや雪を飛ばす方向に人や車などがいないことを充分確認してください。
- ★もし使用法等について、何か御不明な点などあればご遠慮なくおたずね下さい。

除雪機の盗難にご注意ください。

この数年除雪機の盗難被害が増えています。使用後はカギを外しておかれるのはもちろん、夜間も外に出しておく場合などはチェーン等による施錠をお願い致します。

山野草の育て方 2. 新潟県から発信・雪割草 ①.

今回は新潟県の指定草花、雪割草について書かせて頂きます。新潟県には多くの自生地が有ります。種類はオオミスミソウとミスミソウが主体です。自生地では北向きの斜面に多く生育しています。生育環境は春に日が当たり、夏は草の下で日光や雨があまり当たらず風通しが良く静かなところで生活しています。当上越地方ではオオミスミソウが東頸城地域、吉川地域、柿崎地域などに自生しています。またミスミソウについては、妙高地域、頸城地域、



孝明(こうめい) さんやそう荒川
紅風車にすだれ交配の濃色赤地の二段咲き

上越市地域、西頸城地域、糸魚川地域に有ります。ミスミソウ系については、花色は白と薄ピンク、薄黄花があり、多弁花でありあまり変化したものはありませんが、オオミスミソウは色も多彩で花びらも大きく見栄えがし、花芸、葉芸も多彩です。雪割草の種類ですが、標準花系 22 種類以上、八重咲き系 11 種類以上、

カラコ咲き系 7 種類以上、葉芸品については 8 種類以上、色は、

赤系、紫系、覆輪花系、地合い咲系、吹掛け系、縞花系、中透け系、網目系、梅弁系、桜弁系、ツマ紅系、底白系、底赤系、緑花系、黄花系、変化色系、青軸系、ナデシコ咲系、変わり咲系と多芸、これらの掛け合わせによりいろいろな花が出現しました。交配をしたことのない方については、これから購入した花を自家交配し、種子を採って播種してください。3 年後に変化する花が出る可能性があります。購入した時に必ず種をまいてみてください。



無銘 さんやそう荒川
上品な淡い色彩のナデシコ咲き

次回は、雪割草の育て方について詳しくご説明させていただきます。

(荒川豊)

珍しい斑入りのものなど、常時 数万鉢の山野草を取り揃えています。ぜひおでかけください。

さんやそう荒川 〒949-2316 上越市中郷区江口 993-7 TEL&FAX 0255-74-2322

冬期間の除雪機修理対応について

当社では 1 ページのカレンダーにもありますように 12 月 30 日から 1 月 4 日までを正月休業とさせて頂く予定ですが、雪が降って除雪機が稼働するような場合は 12 月 31 日～1 月 2 日を除き臨時営業させていただきます。その後も冬期間は降雪の状況次第で休日も営業しますが、それ以外でも緊急の御用は携帯番号 090-4709-7489(富取)までお願い致します。



強力滑雪スプレー **雪下ろし隊** ただいま絶賛販売中です

除雪機のオーガ(掻込部)とシューター中に付く雪でお困りの方はぜひお試しください。スプレーで吹き付けるだけで大きな効果を発揮します。1,480 円(税込)

珍奇昆虫を代表する バイオリンムシ

この地球上には膨大な種類の昆虫がいて、色も形もバラエティーに富んでいます。珍奇な姿をしたものも数多くいますが、残念なことに変わった形の虫ほどサイズが小さくて、せつかくの魅力的な姿も虫めがねなしではよく見えないという場合が多いのです。そんな中で、形の奇抜さと大きさを兼ね揃えたとびきりの珍奇種が今回ご紹介するバイオリンムシです。

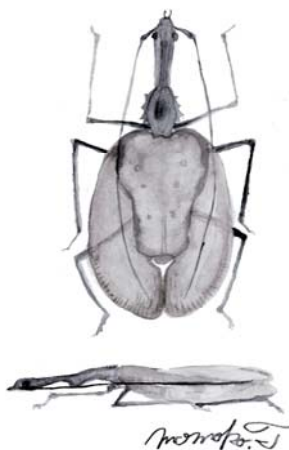
私がこの虫のことを初めて知ったのは、蝶の収集を本格的に始めた頃の1973年、創刊されたばかりの趣味の昆虫の雑誌を読んでいた時でした。そこにはとても変わった虫の絵が載っていて、1頭だけしかないこの虫を最低3万円からのオークション形式で販売すると書かれていました。その結果がどうなったのかはわかりませんが、まずその姿と金額にびっくりしました。それから別の本で19世紀にフランスの自然史博物館がこの虫を購入するために当時の金額で1,000フランもの大金を投じたという話も知り、すごい虫がいるもんだと思うと同時に、バイオリンムシ = 金という不謹慎な刷り込みもされてしまいました。

それから数年後、蝶の採集のためにマレーシアのキャメロン・ハイランドに行ったときにこの虫の実物と出会いました。と言っても、自分で捕まえたというわけではありません。当時その地は東南アジア有数の昆虫の宝庫とされていて、海外からも採集者が訪れていました。当然そこには昆虫を扱う商人もいて、毎晩私たちが宿でくつろいでいると虫を売りつけにやって来ました。そこで珍しい蝶たちと共に目の前に並べられたのがこのバイオリンムシでした。その時は蝶にしか興味がなかったのですがそんなものは要らないはずだったのですが、私の頭の中には以前のあの記憶がしっかりと蘇っていました。この虫は3種類いてこれは特別珍しいとか、日本で買えば10倍の値だとか、いろんなサイズをそろえるといいとかあれ

これ言われながら、気がつくといっぱい買ってしまっていました。なんだからすごく得をしたような気分になりましたが、でもその時はこれを自分の手で採りたいとは思いませんでした。もしあの頃から蝶以外の虫にも興味を持っていたら。今思うとちょっと残念な気がします。

因みに、かつては大珍品だったこの虫も、その後サルノコシカケなどに集まることがわかってからはたくさん採れるようになり、金銭的な価値は大暴落しました。

ところで、バイオリンムシは東南アジアに6種類がいることになっています。その内5種類は簡単に手に入るのですが、ボルネオ島にすむという1種類だけが正体不明です。ネットでなんでも調べられる時代にくら探しても見つからない6番目のバイオリンムシ。いったいどんな姿なのか、出会える日を楽しみにしています。(ミ)

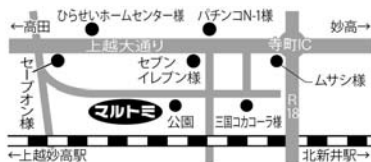


編集後記

弊社の展示会で毎回 山野草の販売をして頂き、本紙のコーナーでもご協力頂いている荒川豊さんの奥様、孝子さんが10月17日に急逝されました。いつもご主人とご一緒にお出でになって笑顔で対応されておられたのでお知り合いの御客様も大勢いらっしゃると存じます。生前のご厚情に感謝申し上げますと共に心よりご冥福をお祈り致します。

今回は都合によりお客様訪問のコーナーはお休みさせて頂きました。次回より再開致します。

今年もお引立てを頂き誠に有り難うございました。それでは皆様、どうか良いお年をお迎えください。



株式会社 マルトミ

上越市西田中236-9(企業団地内)
TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ www.maru-takada.com 「上越 マルトミ」で



県認定農業機械整備工場(大) ・ ヤンマー農業機械整備士工場 ・ ホンダ ベスト特約店